たちばな新聞

水谷山 寶清寺

春のお彼岸
三月十七日(木)　彼岸入り
三月二十日(日)　彼岸中日
三月二十三日(水)　彼岸明け
お彼岸にはご家族お揃いで墓参致しましょう。

増える「無縁墓」 新しいお墓のかたち

近年、テレビなどで「無縁墓」が増え続けているという報道が目に付くようになりました。その背景には、少子化や都市部への人口一極集中が大きな原因と言われています。また、最近では墓を守る継承者がいないという理由で、お墓を申し込むことができない霊園もあります。現代において、伝統的な「家制度」は、もはや当たり前のものではなくなりました。

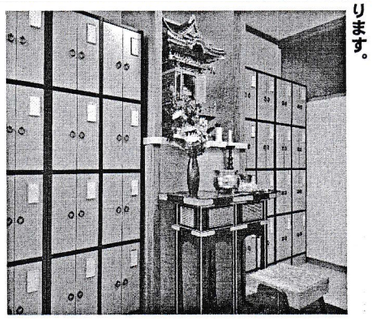
そういった中で昨年、お墓の継承問題に悩みを抱えた檀信徒の方々からの相談を受けました。

「子供がいないから、お墓をこの先どうのようにして守っていけばいいのか？」

「娘が長男に嫁いだ関係で、承継者がいなくて困っている。」など。

当寺では、昨年末より継承問題に悩む檀信徒の方々が心おきなく日々過ごせるようにと、改善策として、既存の納骨堂「睡蓮堂」に加え、新たに本堂内に納骨堂「蓮華堂」(下写真)を新設しました。

こちらの納骨堂には、一般的な一人用の納骨壇と夫婦や兄弟姉妹で入ることができる二人用の納骨壇もあります。また、分骨することにより、一人用は最大四人、二人用は最大八人まで一緒に入ることも可能です。**また、せっかく建てたお墓、先代が懸命に守ってきたお墓を少しでも長く守りたい方は、現在のお墓を供養墓として当寺で管理ならびに永代供養もできるようにしました。**どちらの方法でも墓所管理料（一万二千円／年）はかかりません。納骨壇「睡蓮堂」、「蓮華堂」をご希望の場合は、申込者の永代供養と納骨壇の使用料を合わせてお納めいただきます。現在のお墓を供養墓に変更をご希望される場合は、供養墓の管理と永代供養を合わせてお納めいただきます。（供養墓は申込者の三十三回忌まで、当寺が責任をもって管理、供養致します。その後は墓を当寺の負担で撤去し、ご遺骨のすべてを永代供養合祀墓に改葬します。）



詳細については、宝清寺ホームページ、もしくは、ご希望の方には資料を郵送しますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

お墓の無縁化は解決することが難しい問題ではありますが、当寺としましても時代の変化にあわせて前向きに取り組んでまいります。

日蓮聖人遺訓 第四十五回

「人間に生を得ることは難し、すでに得たり」
（新禅抄）

このご遺文は日蓮聖人が弟子に宛てられた書状とされています。

諸宗の祈祷について述べられながら、正しい信仰者へ信仰の善悪による守護の姿を示され、守護のもととなるのは「報恩の心」だと述べられています。

新しい年を迎え、過去に思いを馳せ、未来に向かって志を立てられたことでしょう。我々は、両親から生を受け、その両親も祖父母がいて生まれたものです。

我々の「命」は、その奇跡の連続の賜だと思います。自身の「命」を大切にすると同時に、ご先祖に対して「報恩の心」を以てご供養する事が大切です。

住職ひと口法話 第四十五回

戦後七十一年を迎えた今年、天皇皇后両陛下は、昨年のパラオ慰霊の旅に続いて、フィリピン慰霊の旅を終えられた。両陛下は、戦後五十年には沖縄・広島・長崎を訪問され、戦後六十年には慰霊の為にサイパンを訪れ、多くの日本人が身を投じたバンザイクリフで、祈りを捧げられた。天皇皇后両陛下の慰霊への思いは格別に強いように思われる。天皇陛下の平成二十六年の誕生日には、「先の戦争では三百万人を越す多くの人が亡くなりました。その人々の死を無にすることのないよう、常によりよい日本をつくる努力を続けることが、残された私たちに課せられた義務であり、後にくる時代への責任であると思います。」と述べられています。改めて命の尊さと遺族の方々の故人に対する思いの強さを感じました。**第一生命経済研究所主任研究員小谷みどりさんは、『今、「直葬」といって、「お葬式をしない人」や「葬式はいらない」と葬儀式に意義を感じないという人がいる。』と指摘しています。私たちは、連綿と続く生の流れの中で、両親から生を受けたものです。我々の「命」は、その奇跡の連続の賜だと思うと同時に、故人となられたご両親やご先祖には、「我々を育ててくれた生きてきた歴史」があります。そのご先祖に対して「報恩の心」をもって、葬儀式や法事を行うことは、我々の「命」をより良く生かすためにも大切なことではないでしょうか。**

当山の永代供養 納骨堂の特徴

① 天候に影響されず、掃除も不要で自由にお参りできます。

② 新設された「蓮華堂」には、二人用の夫婦壇があり、ご夫婦やご兄弟で安らかにお入り頂けます。

③ 分骨することによって、ご家族が使用することも可能です。一人用の単体壇には最大四人まで、二人用の夫婦壇には最大八人まで収蔵可能です。

④ 美しく格調高い納骨壇は、お寺が管理し、いつも清潔に保たれています。

⑤ 各壇が分かれているので、プライバシーが守られます。

⑥ ご遺族のいない方でも、規定期間の法要を当寺が責任をもって厳修します。

⑦ 過去帳に戒名、俗名を記載し本堂にて供養します。

⑧ 祭事には、合同法要を行います。

新寺務員の紹介

海野裕見子さんが体調不良で療養を続けておりましたが、医師の指示で勤務の継続が難しいとの理由で、昨年末に退職致しました。

後任には、本年一月より本採用しました、**松本美善**（まつもとみさ）さんにお勤めいただくことになりましたのでお知らせ致します。

今後、ご法事やお塔婆の依頼など、**坂井美千代・萩原宏恵・松本美善**の三人が皆様のお世話をさせて頂きますので、よろしくお願い致します。

日蓮聖人伝

「自解仏乗の聖人※注」

いままで、便宜的に「日蓮聖人」とお呼びしてまいりましたが、清澄では師道善房から頂いた「是生(聖)房蓮長」という名前で呼ばれおりました。

清澄での初説法より、約八ヶ月後の建長五年十二月九日にお書きになった『富木殿御返事』には「日蓮」と署名され、鎌内御遊学の後半にも「日蓮」と署名された形跡があることから、建長五年前後から「日蓮」という名を使用し始めていたことがうかがえます。

名前の意味は天文八年五月、聖人五十歳の時にお書きになった手紙『四条金吾女房御書』によると、「明かなる事日月にすぎんや。浄き事蓮華にまさるべきや。法華経は日月と蓮華となり。故に妙法蓮華経と名づく。日蓮又日月と蓮華との如くなり」と述べられております。

この「日月」と、「蓮華」の依拠するところは『法華経』の【神力品】「如日月光明能除諸幽冥斯人行世間能滅衆生闇」の文と、【涌出品】「不染世間法如蓮華在水」からおとりになられました。「日月の光明が暗闇をよく照らすように、斯人（行者）もまた衆生の迷暗をよく取り払い」、「泥土（汚濁の世間）に染まらず蓮（悟り）の華を咲かす」とありますように、自戒の念も込めて命名されたのではないでしょうか。初説法において、法華経こそが、お釈迦様の真実の教えであり、衆生の頼るべき経典であると、まさに一点の曇りもない日月のごとく、衆生救済の信念篤く、包み隠さず自身の得たところを述べられたことでしょう。

しかし、当時の清澄では念仏信者が多く、その地における地頭の東条左衛門景信の反感をかい、師や同輩にも疑義がもたれたことでしょう。このようなことから、聖人は清澄を追われ退出せざる終えない状況になってしまったのです。聖人、三十二歳の時でした。※注は「編集後記へ」

宝清寺の草花

連翹（れんぎょう）の開花時期は、三月中旬から四月上旬にかけてです。黄花が細い枝にびっしりと咲き、葉は花の後に付きます。この時期、見上げれば桜、その下に連翹と、白梅色と黄色の淡い色彩が天色の空に浮かびあがり、本格的な春の訪れが実感できる季節です。

連翹には、大きく分けて大和連翹、支那連翹、朝鮮連翹などがあり、そのほかも合わせて七種類がありますが、一見で違いはよくわかりません。連翹は環境の変化や病気に強い植物なので、公園の垣根などにも多く使われ、また漢方薬にもなり、除熱、解毒や、アトピー性皮膚炎などにも効能があると言われています。

先ほどから、レンギョウと呼んでおりますが、古名はイタチソウ（鼬草）と言い、中国では、黄寿丹という名が付いています。

花まつり＆オリエンテンプリング

四月八日の「花まつり」は、お釈迦様の誕生日です。

今から約二千五百年前に現在のネパールのルンビニーでお釈迦様がお生まれになられました。仏教ではお釈迦様の誕生日のことを色々な呼びかたをしておりますが「花まつり」は、その名称通り、桜の花の咲く時期でもあり、本格的な春の訪れを実感できる季節でもあります。冬の寒さが和らぎ、桜の時期にお釈迦様の誕生を祝いながら、桜の咲く河原や街道を散策し、お寺巡りをする一日にしてみてはいかがですか。

「花まつり」の日には、宝清寺をふくめて八ヶ寺を巡り歩く「オリエンテンプリング」を開催しております。

各寺院では、幼少期のお釈迦様のお像に甘茶（甘露水）を灌ぐように用意してあります。お釈迦様に甘茶をかければ自分の心も清められ、飲めば無病息災の御利益があるといわれています。

編集後記

日蓮聖人曰く「聖人と申すは師無くして我と覚れる人なり」と云われ、天台、伝教両大師は「自解仏乗」の聖人であると述べられています。

日蓮聖人もまた、法華経の文底（文面に記されない内容、表面に顕れていない釈尊の御心）を読みとられ、法華経の膨大な文字の中から「日蓮」の二文字を、お名前に選び出し、暗夜に迷う衆生に光明を与え、汚濁の世間に染められず、見事な蓮華を咲かされたのです。

管理料のご案内

たちばな墓苑管理料
納付の御案内

管理料は、毎年三月末日が納付期限の前納制になっております。

まだお済みでない方は、お早めにお納めくださいますよう御案内申しあげます。

遠方にお住まいの方や、ご来寺が困難な方は「ゆうちょ銀行」の自動引落も行っております。ご希望の方は、所定の「届出用紙」がございますので、お問い合わせの上、お申し込みください。

ゆうちょ銀行の自動引落日は毎年四月二十五日（当日が祝祭日の場合は翌営業日）になっております。

口座自動引落の方は、管理料一万二千円の残高が四月二十四日にあるようお確かめください。

ご不明な点がございましたら宝清寺管理寺務所までお問い合わせください。

春彼岸会

新年を迎え、春彼岸のときに今年初めて墓参に訪れる方も多いのではないでしょうか。

また彼岸以前に法事があって来寺された方で故人の供養はしても、先祖の供養をなさる方は少ないでしょう。そういう意味で、春彼岸の先祖供養は、とても大切な行事です。御先祖様に感謝をこめて塔婆供養をなさることをお勧めいたします。同封の葉書にてお塔婆のお申し込みをなさってください。

宝清寺の年中行事

三月彼岸中日	塔婆供養
四月八日	花祭り
七月十七日	盂蘭盆供養
九月彼岸中日	塔婆供養
十月十二日	お会式法要

日蓮宗の聖日

二月十五日	釈尊涅槃会
二月十六日	宗祖降誕会
四月八日	釈尊降誕会
四月十六日	立教開宗会
五月十二日	伊豆法難会
五月十七日	身延御入山
七月八日	本尊始顕会
八月十七日	松葉谷法難会
九月十二日	龍ノ口法難会
九月十八日	池上御入山
十月十三日	宗祖御会式
十二月十二日	小松原法難会

御所願一御供養

交通安全
商売繁盛
虫除け
方位封じ
開運祈願
安産祈願

（盂蘭盆会）の施餓鬼法要、日蓮聖人のお会式を毎年盛大に厳修しております。このほかにも諸祈願や自動車のお祓いや、年忌供養・祥月命日供養・月命日供養等も行っております。詳しくは寺務所までご相談ください。

発行・日蓮宗水谷山宝清寺
住所・東京都あきる野市小川一〇一
電話・〇四二一五五八一二六六三
FAX・〇四二一五五八一二六九三
インターネットホームページ
http://www.abuone-net.jp/housei/
メールアドレス
housei@ac.auone-net.jp